

～入学生答辞～

第91回入学生 代表 金山 晴香

本日は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、行事の開催に制限がある中、私達のために素晴らしい入学式を挙げて頂きましたことを一同心より感謝し、御礼申し上げます。

先程、学校長先生よりあたたかい言葉を頂戴し、看護師としての期待が膨らむと同時に、人の尊厳や生命と向き合う責任の重さをより自覚しております。仲間と互いに支え合いながら、勉学に励むことで思いやりの心と、幅広い能力を兼ね備えた看護師を目指していきたいです。

近年、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、多くの人がその影響を受け、悲しみや苦しみの中にいます。今年1月に、トンガで発生した火山噴火とそれに伴う津波で大半の国民が被災したと報じられています。さらに、連日報道されているように、ウクライナでの戦闘が激化し、人道危機が深刻となっているなど、世界中でも多くの困難を抱えています。そのような中、様々な現場で支援を行う赤十字の活動を目にし、人のために活動する素晴らしさや社会貢献する姿勢への憧れはより一層大きくなり、今何が起きているのか、私達にできることは何かを考えて行動すべきだと感じています。



これからは、京都第一赤十字看護専門学校の一員であることを自覚し、先輩方が築き上げてこられた伝統と「人道」の精神を受け継いで参ります。

そして、コロナ禍で受けた苦しみを力に変え、世界中の平和を願い、広く社会に貢献できる看護師になることを誓います。

立派な看護師になるにはまだまだ未熟な私達ではありますが、どうぞ今後とも温かく、時には厳しくご指導くださいますようお願い申し上げます。

令和4年4月13日